中日新聞 No.１７０ 学習ワークシート
国語科／中学校
２０２０年７月１５日付市民版

年 組 名前

# ごみ収集車火災 水曜に集中発生

## 多くの地域で「不燃」回収

名古屋市内で起きたごみ収集車の火災のうち九割以上が、不燃ごみの回収日である水曜日に起きている。スプレー缶などの誤投棄が主な原因とみられる。さらに今年は同種の火災が増加傾向にある。市消防局は、新型コロナウイルス感染の影響に伴う外出自粛も背景にあるとみており、正しいごみの分別を呼び掛けている。（池内琢）

ごみ収集車の火災の火元とみられる、黒く焼け焦げたスプレー缶＝いずれも市内で（市消防局提供）

消防局によると、二〇一五～一九年の五年間に市内で発生したごみ収集車火災は七十五件。このうち92％の六十九件が水曜日に起きていた。ほかは金曜日三件、木曜日二件、月曜日一件。

一方、新型コロナ感染が広がった今年三～五月の収集車火災は、車両火災のうち最多となる六件で、過去五年間の同時期の平均に比べ二件増加。いずれも水曜日に発生した。

水曜日は市内の多くの地域で不燃ごみの収集日に指定されている。市環境局や消防局によると、スプレー缶や使い捨てライターなど「発火性危険物」が不燃ごみとして捨てられ、収集車内部で発火する事例が多い。

## スプレー缶「正しく分別を」

消防局の担当者は「スプレー缶やライターを不燃ごみで出せると誤解している人が少なくない」とした上で、今年の傾向については「新型コロナの感染拡大で外出自粛が続き、時間の余裕ができたため、自宅の大掃除や片付けをする人が増えたのが原因では」と分析する。

市のごみ分別ルールでは、スプレー缶などの発火性危険物は専用の袋に入れ、週二回の可燃物と同じ曜日の収集日に出すと定めている。スマートフォンの充電などに使うリチウムイオン電池は、市内の電器店や各区の環境事業所に設けられた回収場所に出すことが求められている。環境局の担当者は「火災を防ぐためにもごみの正しい分別に協力してほしい」と訴える。

一方、消防局が今年三～五月の火災状況をまとめたところ、調理中に火が燃え移るなど家庭の「こんろ火災」が二十五件で、過去五年間の同時期の平均の十二件から倍増。住宅火災の原因の約四割を占めた。担当者は「外出自粛の影響で、家庭で料理に不慣れな人が料理をすることが増えたため、不注意による火災が増えたのでは」と考察する。

問１：ごみ収集車の火災が水曜日に集中発生する原因をまとめましょう。

不燃ごみの収集日である水曜日に、スプレー缶や使い捨てライターなどの

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

を誤って出したから。

問２：原因として外出自粛も背景にあるようです。なぜ外出自粛が火災発生につながるのか説明しているところを、本文中から 30 字で抜き出し、はじめと終わりの３字をそれぞれ書きましょう。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ～ | | | | | |

©The Chunichi Shimbun